

### 1122組目のいい夫婦に記念品

2005（平成17）年10月に東川方式の婚姻届け制度が誕生以来12年目の9月27日、届け出た新婚カップルが千122組目に達しました。語呂合わせで、いい夫婦“達成記念の新郎、新婦の2人に記念品をプレゼントして新たな門出を祝福しました。”



「いい夫婦」と呼吸を整え、「二人三脚でゆつくり歩いて行きたい。」  
この日は真衣さんの誕生日で、まさに偶然が重なった縁。かみしめながら「ケーキと一緒に記念のワインで乾杯します。」  
本町の婚姻届は、2人の永久の誓いや思い、届け出た日の写真、婚姻届の写しを記念の台紙に添付してメモリアル台紙としてお二人にプレゼントする一方、町でも大切に保管、保存します。

### 植田さん、全日本マスターズ陸上で2連覇



全日本大会2連覇快挙の報告(10月17日)

北町2、植田さん(81)が第37回全日本マスターズ陸上選手権大会(9月17-19日・新潟市デンカビッグスワンスタジアム)に今年も出場し、80歳クラスの80歳H(ハードル)、200歳H2種目でともに優勝しました。80歳Hでは2連覇、200歳Hでは昨年の2位雪辱の快挙。56歳の時から全日本マスターズ大会に出場以来、3年前に左足捻挫で欠場しましたが、毎年のように出場を続けてきました。「70歳代までの選手はたくさん出場しているけれど、80歳にな

ると途端に出場選手が減る」と言いまします。  
80歳クラスハードルに出場した選手は、80歳Hで7人、200歳Hで2人しかおらず、「年齢とともに衰えてくる走る能力、跳力が技術的に求められる。」  
この後22回世界マスターズ陸上選手権大会(10月26日〜11月6日・オーストラリア・パース)にも出場予定。「今まではファイナリストまで出場はできたけれど、4〜5位どまり。今年が入賞を狙いたい」と準備万全のよう。

### 初の日本ウズベキスタン写真交流展

9月24日、文化ギャラリーをメイン会場に、日本ウズベキスタン写真交流展が2週間の幕開けをしました。  
写真家の佐藤かな子氏、同前田昌宏氏(一財)日本カメラ財団、谷野啓常務理事と(一財)日本ウズベキスタン・シルクロード財団のパビリディノフ・マンストール代表、松岡市郎町長、



並みや寺院など、中央アジアの独特な文化を写し撮った作品がいっぱい。  
農村環境改善センターではマンストール代表が日本とウズベキスタンとの交流の歴史などを紹介、前田氏はウズベキスタンの人々の文化を紹介しました。

### 株主の森で雪の中の植樹

10月21日、東3号北6線の町有林、株主の森で8年目の植樹を行いました。



準備を終え、間もなく移住という森田さん一家

全国からひがしかわ株主79人と旭川市内の東川出身会の皆さん約100人が参加しました。この日は前夜半から降った今季初の雪で積雪約5センチ。気温0・7度の曇り、0・5センチの林は白銀の世界に一変しました。しかし皆さん意気揚々と、アオダモ千100本もわずかに約30分で植樹終了。

める状態になったので、準備をしてから帰りまます。冬はバリ島で暮らし夏は東川で、と考えているそうです。  
参加者一行は、植樹後改装工事が終わったばかりの文化芸術交流センター(旧東小)で昼食会と株主総会に出席。地元の新米、野菜を使ったカレーライス、豚汁と、町内で販売している米粉シフォンケーキ、蒸しパン、寄せ豆腐、漬物、おにぎりなどに舌鼓。一足早く移住した先輩2家族の体験談に聞き入っていました。

### 加藤登記子さん、百万本のバラコンサート

10月23日、旧東川小学校校舎を全面改装してオープンした文化芸術交流センターで歌手、加藤登記子さんの「百万本のバラコンサート」が開かれました。

この日オープンした同センター開館記念として快く駆けつけてくれました。松岡市郎町長は「100万本のバラ」という歌に出合わなかったら、この町と

### 新米キャンペーン

9月24日から3日間、恒例の新米キャンペーンが町内3カ所の引き渡し所で行われました。



族、親せきで8袋、10袋と買い求め、その場で郵便小包を作って発送する人が続々。店内に積み上げた新米は瞬間になくなっていききました。  
毎年恒例の人気キャンペーンなので、購入量を限定しました。今年

町地域農業推進協議会、町特産品ブランド化協議会(事務局。役場産業振興課と東川町農協)の主催。米の本格出荷に先駆けて、町内で収穫したばかりの新米を一足早く食べてもらおうと新米シーズに先駆けて行っています。町内3カ所に米引き換え所を設置しました。  
毎年引き換え希望が最も多いのは道の駅・道草館。朝9時の販売開始前から購入希望者が訪れました。「毎年東京に送っているから」と家

年の販売は、無洗米「ゆめぴりか」「ほしのゆめ」(いずれも5kg袋)の2品種。供給量に限りがある「ゆめぴりか」は一人10kg(5kg×2袋)に制限しました。  
そのため予約件数は千139件(昨年比129件減)、2万五千560kg(同7千550kg減)となり、「ほしのゆめ」が2倍近い2千870袋の販売量となりました。

語」。町内のみずほコーラス、旭川東高校音楽部、北海道教育大学旭川校の70人の混成合唱コーラスで歌い上げ、満場の拍手があふれました。



コンサートは、前半の弾き語りについて、ヒット曲、代表曲を次々披露。エンディングは代表曲の一曲、「100万本のバラ」とラトビア民謡をカッティングした「100万本のバラ物

インドネシア・バリ島でヴィラ(貸し別荘)を経営しているという森田幸延さん(42)一家は親子5人の参加。3年前、移住体験ハウスで3カ月間暮らし、「水がおいしい」と移住を決めたそうです。  
移り住む家も決まって「ようやく住